

2020 年度 インクルーシブ・リーダーシップセンター(CIL)

研究プロジェクト助成 募集要項

インクルーシブ・リーダーシップセンター（以下 CIL）は本助成を通じてインクルーシブ・リーダーシップの研究を推進し、そこで得られた知見を広く社会と共有することで、APU の研究の評価の向上をはかります。

インクルーシブ・リーダーシップとは、「組織は異なる個性・能力・価値を持つ個で成り立っている、というものの見方」と、「それを通して様々なバックグラウンドを持つ個人個人が集団・組織・コミュニティーにたいして帰属意識、参画感を抱き、それぞれの形で貢献するプロセス」の要素を併せ持つものです。よってインクルーシブ・リーダーとはインクルーシブな環境を作り出し、多様性を繁栄の活力とし、ビジネスや社会の課題を解決につなげることができる個人ということになります。

本助成はインクルーシブ・リーダーシップに関する研究を支援して推進すること、そしてその成果を世界的に評価の高いジャーナルに掲載することを目的とし、募集をおこないます。

1. 応募資格	<p>申請者（研究代表者）は以下の申請資格を満たすものであること。</p> <p>(1) 本学専任教員（教授・准教授・助教・特任講師・嘱託講師）であること。 ※任期制教員、特別雇用教員、継続雇用教員を含む。 ※CIL のメンバーの研究代表者としての申請は不可とします。</p> <p>(2) 以下 3 つの重点項目いずれかに資する研究であること。 (A) インクルーシブ・リーダーシップの理論と実務上のギャップ解消 (B) <u>インクルーシブ・リーダーシップトレーニングの教育法開発およびその実践</u> (C) インクルーシブ・リーダーの理論的枠組みの構築 とりわけ(B)を最重点項目とし、(B)に資する研究については審査において優遇措置を行う（採択を確約するものではない）。</p> <p>※補足事項※</p> <ul style="list-style-type: none">個人／グループどちらでの応募も可能。研究メンバーには、上記専任教員以外の本学教員や学外者を含むことができます。複数のプロジェクトへの参加可。ただし代表研究者になれるのは 1 件のみ。本助成は英語での申請のみとします。CIL では、世界的に評価の高いジャーナルを特定する上で、以下のジャーナル・ランキングを参考としています。 The University of Queensland (UQ) ranking, Australian Business Deans Council Journal ranking (ABDC) or Association of Business Schools ranking (ABS) これらの評価のいずれかにおいて、B 以上 (UQ, ABDC)、もしくは 3 以上 (ABS)の評価を獲得しているジャーナルを評価の高いジャーナルと定めます。 各ジャーナルの詳細なランキングは以下を参照してください。 Journal Quality List: Sixty-fourth Edition https://harzing.com/download/jql_subject_2019_02.pdf
2. 助成額	<p>【1 件あたり上限額】（個人・グループともに） ¥1,000,000（4 プロジェクトを上限）</p>

3. 助成期間	<p>採択通知日～2022年3月31日（木）</p> <p>※本プロジェクト助成の対象期間は2年間とします。</p> <p>※年度ごとに執行期限を設定します。執行期限は採択後に別途通知します。</p>
4. 助成金の交付	<p><交付時期></p> <p>2020年7月上旬の予定です。</p> <p><使途範囲></p> <ul style="list-style-type: none"> ・採択通知日以降に発生した経費を対象とします。 ・消耗品費（図書を含む）、国内旅費、国外旅費、謝金、その他採択された課題の研究に必要とされるものとし、その執行方法についてはAPU研究費執行ガイドブックを遵守することとします。
5. 留意事項	<p>(1)本助成と科研費やAPU 学術研究助成、FD/SD 運営委員会が実施するFDプログラム*への重複申請は妨げません。</p> <p>但し、本助成への申請内容が科研費/APU 学術研究助成/FDプログラムと同じまたは類似の研究課題である場合、申請書にて同じまたは類似であることを示し、かつ追加資金の必要性を示すことを求めます。</p> <p>*ファカルティ・イニシアティブ・プログラム（FIP）及びディビジョン・イニシアティブ・プログラム（DIP）</p> <p>(2)本助成の受給にあたっては、3年以内にコンプライアンス研修・倫理研修の受講を終了（グリーンブックの通読を含む）し、書類を提出している必要があります。未受講の場合は、執行前に受講を終えること。</p> <p>※学外の研究メンバーについては、所属機関にて行われる同様の研修を受講していれば本学での研修参加・書類提出は不要とします。</p>
6. 審査・決定	<p>全ての申請は少なくとも3名の外部レビュアーによる審査を行います。</p> <p>CIL 運営委員会はその評価を集計し、外部レビュアーの推薦に基づいてプロジェクトの採否と助成金額を決定します。外部レビューからのフィードバックは、申請者と共有します。</p> <p>採択された課題については、CIL ホームページにて研究課題名、研究者名（研究代表者および研究メンバー全員）を公表します。</p>
7. 申請方法・スケジュール	<p>(1)申請締切</p> <p><u>2020年5月31日(日)</u></p> <p>締切りを過ぎてからの提出・差し替えは一切受け付けません。</p> <p>(2)申請方法</p> <p>所定の申請書をCIL事務局（リサーチ・オフィス）（centers@apu.ac.jp）にメール添付にて提出してください。</p> <p>① 所定の申請書</p> <p>*申請書は以下のCIL ホームページからダウンロードできます。</p> <p>https://www.apu.ac.jp/cil/</p> <p>(3)結果通知</p> <p>2020年6月下旬（予定）にメールで申請者（研究代表者）に通知します。</p>
8. 採択された場合の義務	<p>(1) 研究費の執行を適正に行うため、研究メンバーは執行開始までに事務局による執行ガイダンスを受けること。</p> <p>(2) 採択されたプロジェクトの研究代表者は、CILのメンバーとします。</p> <p>(3) CILは、APカンファレンスのインクルーシブ・リーダーシップセッションの</p>

	<p>ようなイベントでの研究の発表やイベントへの参加等を求めることがあります。その場合は可能な限り参加することを求めます。</p> <p>(4) 初年度末に経過報告書を作成し、CIL に提出すること。</p> <p>(5) 2021 年度中に研究成果を学会にて発表すること。発表する学会は特に指定しません。</p> <p>(6) 助成期間終了後 1 ヶ月以内にフルペーパーを作成し、CIL に提出すること。論文としてジャーナルに投稿した場合は、その写しを提出してください。 ※経過報告書と未出版のフルペーパーは、CIL が発行を予定する Inclusive Leadership Annual Report の一部またはディスカッションペーパーとして一般に公開します。ディスカッションペーパーの著作権は著者に属します。</p> <p>(7) 本助成による研究成果について学会発表または論文発表を行った場合、事務局を通じて CIL に報告を行うこと。また、発表の際は助成を受けていることを謝辞で述べること。</p> <p>(8) 本助成による研究成果に関連する全ての出版物を事務局に提出すること。</p> <p>※上記の義務を履行しなかった場合、本助成の執行を停止し助成金の返還を求めることがある。あわせて今後の CIL の各種プログラムへの申請資格を停止することがある。</p>
9. 申請書類および個人情報の取扱い	<p>(1) 申請書類等の提出物は本助成に関する事務処理でのみ使用する。</p> <p>(2) 提出物の返却は行わない。</p> <p>(3) 申請書類等より取得した個人情報は、選考以外には使用しない。</p>

【お問合せ先】 CIL 事務局
(リサーチ・オフィス)
e-mail : centers@apu.ac.jp